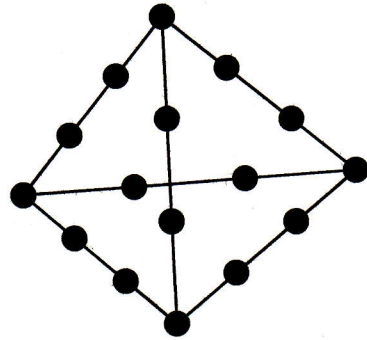




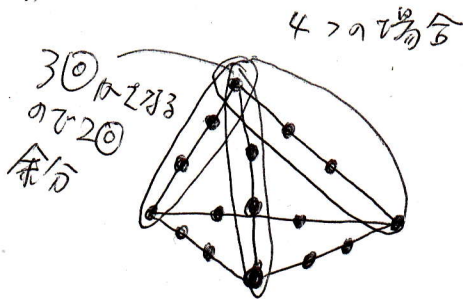
右の図は、正四面体の各辺を3等分した点と各頂点に粘土を丸くして取り付けた図です。このとき正四面体の1辺には粘土が4個並んでいます。1辺に並ぶ粘土の個数を $n(n \geq 2)$ として、次の問いに答えなさい。



- (1) 1辺に粘土が6個並ぶとき、粘土は全部で何個取り付けることになりますか。
- (2) 1辺に n 個の粘土が並ぶとき、粘土は全部で何個とりつけることになるか、 n を用いて表しなさい。
- (3) 1辺に並ぶ粘土が a 個のとき、1辺に並ぶ粘土が b 個のときでは粘土に66個の差ができた。このとき、 a と b の関係を等式に表しなさい。ただし、 $a < b$ とする。

4)

〔H24 徳島県基礎学力テスト一部改〕



$$4 \times 6 - 2 \times 4 = 16$$

6>の場合

$$6 \times 6 - 2 \times 4 = 28$$

28個

(2)

$$n \times 6 - 2 \times 4$$

$$\underline{6n - 8 \text{ 個}}$$

(3)

$$66 \div 6 = 11 \dots \text{1辺の個数の差}$$

$$\underline{b - a = 11}$$

